

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年 1月22日（火）

2 確認箇所

建屋内RO循環設備

既設多核種除去設備

3 確認項目

(1) 建屋内RO循環設備逆浸透膜装置（B）の状況

(2) 既設多核種除去設備（B）で発生した漏えいの状況

4 確認結果の概要

(1) 建屋内RO循環設備逆浸透膜装置（B）の状況について

平成30年11月29日に漏えいが発生した建屋内RO循環設備逆浸透膜装置（以下、「建屋内RO」という。）（B）の現況について確認した。

- ・建屋内RO（B）は停止しており、漏えいが発生した箇所の部品が取り外されて、部品が接続していた配管の先端はビニールで養生されていた。
- ・東京電力によると、原因究明のために、漏えいが発生した部品の詳細調査を行っているところであり、調査結果が判明次第、再発防止対策を検討するとのことであった。

(2) 既設多核種除去設備（B）で発生した漏えいの状況について

本日（1月22日）10時頃、既設多核種除去設備（B）のクロスフローフィルタ出口弁のグランド部から水が漏れているとの情報があったことから、現場の状況を確認した。

なお、漏えいした水は既設多核種除去設備の系統水であり、出口弁の増し締めにより漏えいは停止した。

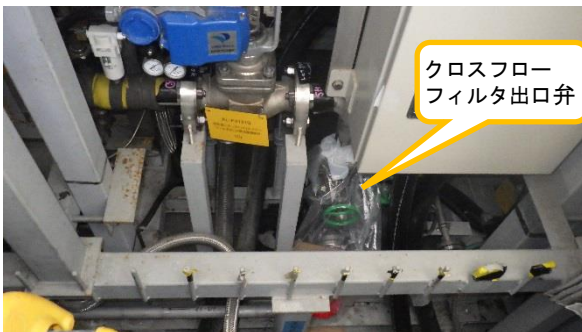
- ・現場確認時（10時50分頃）には、東京電力社員が出口弁増し締め後の状況確認を行っていた（写真1）。目視した限りでは漏えいは停止しており、漏えいした水は堰内に留まっていた。
- ・その後、溜まり水の拭き取り及び漏えいがあった出口弁の養生が行われた。（写真2）



(写真1-1)
漏えい確認の状況①
堰内の床面に水溜まりが確認された。



(写真1-2)
漏えい確認の状況②



(写真2)
養生後のクロスフローフィルタ出口弁の状況
堰内の溜まり水は拭き取られており、水溜まりは確認されなかった。

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。